

(15) 高校・特別支援学校

(第3種郵便物認可)



社会を変える
高校生



▷36◁



同校を訪れた千葉県の高校生と一緒にツバキの果実を収穫

約300万本のヤブツバキが
自生し、「ツバキの島」として
知られる伊豆大島。東京都立大
島高校も地域資源であるツバキ
を活用した地域活性化に取り組
んでいる。

その一つが、椿油をはじめと
する特産品作りだ。農林科の生
徒を中心に、毎年秋には全校生
徒にも協力を呼び掛けて果実を
収穫。収穫した果実から種子を
取り出し、地域の事業者と連携
してオリジナルの椿油として製
造・販売している。27年度的全

ツバキで地域活性化 東京都立大島高校

国農業高校収穫祭では、化粧用
油だけでなく、島唐辛子を加え
た食用油「島高ラー油」を販売
し、最優秀賞に当たる「お客さ
ま賞」を受賞した。

二つ目は、生徒が日頃の学習
で学んだことを発表する「椿
学」。さし木教室や椿園ガイド、
中学校での出前講座などを行っ
ており、相手に分かりやすく伝
えるための創意工夫を学ぶ場と
してだけでなく、地域の人々と
ツバキの魅力を共有する場にも
なっている。また、昨年夏には
伊豆大島ジオパーク、東邦大学
と連携してツバキの研究発表会
「伊豆大島椿セミナー」を開催
し、島内外からの参加者約80人
の前で生徒が日頃の研究成果を
発表した。



現地審査で訪れた国際ツバキ協会の理事らを案内する生徒たち

これらの活動に関して大きな
転機となったのが、28年2月、
同校の椿園が教育機関としては
世界初となる「国際優秀つばき
園」に認定されたことだ。国際
ツバキ協会が認定する「国際優
秀つばき園」は世界に約50カ所
あるが、今回の認定は都立大島
公園椿園、椿花ガーデンとの3
園同時申請という産官学連携の
取り組みとしても注目を集め
た。生徒は、理事による現地審
査時の案内の他、中国で開かれ
た国際大会でも15カ国300人
を前に英語でプレゼンテーショ
ンをし、認定に大きく貢献し
た。

「国際優秀つばき園」認定後
は、島内外からの椿園訪問者数
が急増。生徒たちは、自分たち
が管理する椿園やツバキの魅力
を多くの人に伝えられるように
と、これまで以上に主体的に準
備に取り組み、誇りと自信を持
ってプレゼンやイベントの運営
ができるようになってきてい
る。外国人訪問者に英語で堂々
と案内する生徒も出てきた。
「地域資源の魅力は、外部の
評価を得てから気付くことが多
い」と金子雄主任教諭。そして、
その魅力に地域の人々が気付く
ことができれば、地域に大きな
自信と推進力が生まれる。椿油
としてだけでなく、さまざまな
産業への発展の可能性も秘めて
いるツバキ。今後も、同校だけ
でなく大島全体のツバキを対象
に活動の幅を広げていきたいと
している。

国際認定の椿園、独自商品を「売り」に